

## 『じゃあじゃあびりびり』



まついのりこ／作・絵  
偕成社  
2019年改訂2版

すきになってね。

今回は「ファースト・ブック」として活躍している本を紹介します。

荒尾市では1歳半健診の時、訪れるお子さんたちへ待ち時間を使って、図書館員が読み聞かせをし、本を1冊プレゼントしています。本との出会いの場を提供する「ブックスタート事業」と言われる取り組みで、これを3ヵ月児健診で行う町もあります。

人生で最初に出会う本を「ファースト・ブック」と呼んでいます。

紹介する『じゃあじゃあびりびり』は、小さい手で持てる大きさ・めくりやすく丈夫な（ということは分厚い）紙でつくられています。赤ちゃんたちはこの本を投げたり、かじったり、なめたり、踏んだり、乗ったり、かぶったり、ならべたり、そして眺めたりして楽しんでいます。まだ「読む」段階ではない幼い人にも、本は何でもしてくれる友達です。

もちろん、読んで楽しむことも、この『じゃあじゃあびりびり』は可能です。向き合って、あるいはお膝にのせて背中から、お母さん・お父さんの声を言葉に乗せて対話してください。

くっきりした色使いの可愛い絵にリズムカルな言葉、なにしろ楽しい本です。

短い時間の楽しみになります。

丈夫です。少々濡れたって拭き取れば問題なし。

持っていることがうれしい本です。

くり返し楽しめますし、読み終わることはありません。

「この本、持ってた!」の声が聞こえそう。初版は1983年です。

幸せな本との出会いを約束します。何度も何度も楽しんでください。